

# 『北はるか畜産通信』

JA北はるか美深本所・下川支所・中川支所

## 北はるか畜産通信第2号です！

皆様、いつも大変お世話になっております。大好評？の畜産通信第2号です。今回は子牛の出生時のポイントについて書きましたが、今回は次のステップに移りたいと思います。

### 栄養を充足させる！

子牛の栄養が十分に満たされていれば、寒さや病気に対する抵抗力が高まり少々の寒さでも風邪をひいたりしません。逆に栄養も足りなく腹ペコストレスが牛には一番良くない事なんです。流行の「目力」があるイキイキとした子牛に育てましょう。

### 《子牛の栄養で必要な事》

最も子牛に必要な事は手間と愛情なんです、栄養から考えると ①代用乳 ②人工乳 ③水です。

### 《子牛管理のポイント》

#### ①初乳から代用乳へ

今回は初乳の給与について書きましたが、それ以降子牛に与えるのが代用乳です。栄養の素となる大切な物ですから、メーカーさんと相談し良い物を使いましょう。ミルクの袋の裏面に給与量については記載されていますが、あれはごく一般的な量ですので、子牛の体重や外気温によっても量を変更する事が必要になってきます。とはいってもミルクの濃度は変えないで下さい。濃度が違うと下痢の原因になってしまいますので、しっかりと計量する事！それと、溶かす時の温度も高すぎるとはビタミン・ミネラルを壊してしまうので注意が必要です。下の表は代用乳乾物給与量を表にした物なので、参考にして下さい。

(代用乳はCP 20, Fat 20wを使用)

維持要求を満たす為に要求される代用乳乾物給与量kg/日

体 重	外 気 温						
	20℃	10℃	0℃	-10℃	-15℃	-20℃	-30℃
27kg	0.27	0.36	0.41	0.45	0.50	0.54	0.64
36kg	0.36	0.41	0.50	0.59	0.64	0.68	0.77
45kg	0.45	0.50	0.59	0.73	0.77	0.82	0.91
55kg	0.50	0.59	0.68	0.77	0.86	0.91	1.05

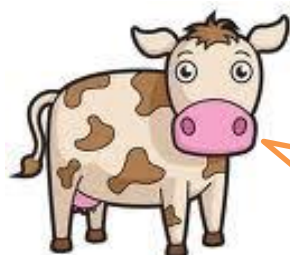


維持要求と日増体重500gを満たすために要求される代用乳乾物給与量kg/日

体 重	外 気 温						
	20℃	10℃	0℃	-10℃	-15℃	-20℃	-30℃
27kg	0.54	0.59	0.68	0.73	0.77	0.82	0.86
36kg	0.59	0.68	0.77	0.82	0.91	1.05	1.10
45kg	0.68	0.77	0.86	0.95	1.05	1.15	1.18
55kg	0.77	0.86	1.00	1.05	1.15	1.20	1.30

この表が全てという訳ではありませんが、子牛に給与するミルクの量がどの牛も一緒という農家さんも少なくないと思います。便に注意をしながら少し増量してみても？頭数が多いと管理も大変かと思いますが、人間の子供を想像して、もう一度子牛を見てあげて下さい。前回も書きましたが、手間をかけた分以上に牛は必ず返してくれます！

特に哺育期は大雑把な管理と、キメ細やかな管理とでは明らかな差が出てきます。市場で一度買ってくれた購買者がもう一度買ってくれるような牛に育てましょう。



最後まで読んでいただきありがとうございます。ところで前回の通信は保管してありますか？これからどんどん発行していきますよ！内容も着実に充実していく事とされますので、ご期待下さい！  
少しづつ春に向い暖かくなって、寒さを乗り切った牛達も気が緩み始めますので、思わぬ疾病には気をつけて下さい。